



〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263)53-8802 FAX (0263)51-1290 E-mail : kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

目 次

校内研修支援のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 学力を高める授業のポイント⑩（国語編）・・・・・・・・・・ 2
 研修講座の様子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 センター研究発表会（2月16日）のお知らせ・・・・・・・・ 4

校内研修支援のご案内



センターでは、学校支援事業の一環で、所員を派遣し校内研修を支援しています。ここでは手順の概略をご案内します。詳細は“校内研修支援メニュー”をご覧ください。

Step1
計 画

- メニューを参考に校内研修の計画をお立てください。
- 1カ月前までにセンターの担当部にご相談ください。

Step2
申 込 み

- 内容がある程度決まったら、派遣依頼をお願いします。
- 申請書をDLして作成後、センター所長宛にご送付ください。

Step3
事 前
打 合 せ

- 担当所員と、手順、物品等の打合せをお願いします。
- 近隣の学校へも参加を呼びかけてみてください。

Step4
研 修 会
当 日

- 校内研修を実施します。
- アンケートに成果等を記入し、担当所員にお渡しください。

Step5
研 修 会
の 後

- 研修内容を活用した実践をお願いします。
- 内容を活用した授業等を公開する場合は、所員にもご連絡ください。お困りの点は担当した所員にいつでもご相談ください。

学力を高める授業のポイント⑩

国語編

子どもたちが、身に付けた言葉の力を発揮して、さらに「よりよく読む力」を付けていく授業について考えてみます。

情景描写に着目して、場面の様子と人物の心情を結び付けて読みを深めていく

「さあ、いよいよ戦闘開始だ。」

東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。(小5「大造じいさんとガン」)

➤ 「真っ赤に燃えて」という色彩を効果的に用いた情景描写に着目して、「大造じいさん」が「残雪」との対決の朝を迎えたときの心情を想像して読みを深めていく。



トモニ先生

ミガコ先生。子どもたちに、戦う気持ちに満ちた「大造じいさん」について、朝の様子を表した「真っ赤に燃えて」という表現にも注目して読みを深めさせたいと思っているのですが、どうしたらいいのでしょうか？

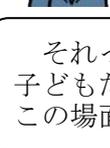


トモニ先生。この情景描写を読んで、子どもたちは「空が燃えている」って、どのようにイメージしているのでしょうか？



ミガコ先生

本当に「空が燃える」ことはないから、登山の時に見た「朝焼け」のことかなって言っている子どもたちがいました。



それって、子どもたちが今までの学習や体験で身に付けた言葉の力じゃないかな。子どもたちが、「朝焼け」の色に注目して、「真っ赤」じゃなくて「赤」だったら、この場面の様子や人物の気持ちがどう違うか比べて考えられるようにしたらどう？



それまでにどのような言葉の力が付いていて、さらにどのような言葉の力を付けるのかを明らかにして授業を考えないといけないということか。



つなぐ先生

それに、身に付けた言葉の力を発揮して、話したり聞いたり、書いたり、読んだりする学習を考えていくと楽しい授業ができそうね。

そうです。身に付けた言葉の力を他の場面でも発揮できるように、教材研究を充実させ、それまでに付けた言葉の力をもとにした、話す・聞く・書く・読む学習を位置付けた授業を考えてみましょう。

そうか。身に付けた言葉の力を発揮して、子どもたちが自ら課題を解決していく言葉の力を育てる授業を考えることが大事なのですね！

このように、国語で身に付ける言葉の力＝国語の学力を高めていくために、それまでにどのような言葉の力が付いているのか、さらにどのような言葉の力を付けるのか、そのためにどのような学習を位置付けるのかという観点で教材研究を充実させ、楽しい授業を構想してみましょう。

「よりよく話す」「よりよく聞く」「よりよく書く」「よりよく読む」学習が積み重なるように、つける力をより明確にし、子どもたちが単元の学習や体験などで身に付けた言葉の力を発揮できる授業を考えていきましょう。

研修講座の様子

ミドルリーダーのための学校組織マネジメント～チームリーダーの役割を考える～ (6月13日)

この講座は以下のねらいで開講され、50名の先生方が受講しました。

- ・自分自身の働き方や職員連携の進め方の視点から、学校組織マネジメントについての理解を深める。
- ・演習を通して、職員集団をまとめるためのコーチングや校内での職員連携のあり方についての理解を深める。

＜講座の主な内容＞

演習・情報交換「ミドルリーダーのための学校組織マネジメント

～自分自身の働き方を考える～ 総合教育センター 専門主事 古村 淳仁

講義・演習「学校組織をマネジメントするコーチング」

PHP研究所公認ビジネスコーチ（上級） 久米 昭洋 先生

◆◆◆感想の抜粋◆◆◆

- ・自分が自分の仕事のみをこなしていけばよいのではなく、学校全体がよりよくなっていくように働きかけをする立場であるという事が改めて自覚できた。
- ・コーチングという事を初めて学んだ。人と人とのかわりや、よりよい集団・チームになるための方法を教えていただいた。
- ・具体的にどのようなことをしていけば、みんなが同じ目標に向かうことができるか、手法をいくつも示していただき、とても参考になりました。



「マネジメント」、「ミドルリーダーの役割」という観点での講座を受講いただいたことで「学校をチームとしてとらえる」意識をより強くした方も多かったようです。



中学校道徳の時間 基礎 ～実践事例に学ぶ～ (8月25日)

この講座は以下のねらいで開講され、23名の先生方が受講しました。

- ・講義と演習を通して学習指導要領における道徳教育の目標を理解できる。
- ・模擬授業や実践発表から中学校道徳教育について考えを深め、実践へ生かしていくことができる。

＜講座の主な内容＞

演習・情報交換 「道徳教育で大切なこと」

講義・演習 「役割演技を取り入れた授業」

実践発表 「中学校道徳教育の実践発表」

模擬授業・演習 「道徳の時間の授業づくり～特別の教科道徳の実施に向けて～」

総合教育センター 専門主事 牛山 真弓

大桑村立大桑中学校 教諭 山口 和幸

総合教育センター 専門主事 牛山 真弓

◆◆◆感想の抜粋◆◆◆

- ・道徳の教科化に伴って、不安がたくさんあったのですが、たくさんわかったことがありよかったです。
- ・心の葛藤を対話形式でやってみるのは、とても面白い。このような活動をたくさん取り入れてみたいと思った。
- ・自分自身がその役の気持ちに寄り添うことができるので、役割演技は有効であると感じた。
- ・道徳的価値について、改めて考えることができ、分からない所を知ることができた。
- ・道徳に対する見方が変わり、身近に感じられた。



「役割演技」を取り入れた講座を受講いただいたことで、「授業を考える時に研修した内容をもとに作りたい」など実践につながる内容となりました。





平成 29 年度 長野県総合教育センター

研究発表会

～多様化する教育現場の課題解決に取り組む教職員を支援する調査研究～

教育をタイムリーにチェンジする

総合教育センターが取り組む学校教育に関する研究成果の発表により、県内の各学校・教育関係機関等における研究活動の充実、教員の指導力の向上に資することを目的として開催します。

本年度、長野県総合教育センター研究発表会では、参加者の皆さんと、

- 各テーマに関する研究の成果と、それを踏まえたワークショップを通し、
様々な校種の教員同士が語り合う事で**研究の成果を日々の実践へとつなげていくこと**
- 「教える」という事について、哲学者、脳科学者それぞれの視点から光を当て、
「教える」という事の意味、日々の実践を問い続けること
を目指しています。

- 会場 長野県総合教育センター 〒399-0711 長野県塩尻市片丘南唐沢 6342-4
- 日時 平成 30 年 2 月 16 日 (金) 9:30～16:30

| 時間 | 内容 | | |
|-------------|--|---------------------------------|----------------------------|
| 9:30～9:40 | 開会行事 | | |
| 9:40～10:10 | ○オープニング対談 「主体的・対話的で深い学びにつなぐ」  塩谷 賢氏 (哲学者) 茂木 健一郎氏 (脳科学者) コーディネーター 酒井 賢一 (長野県総合教育センター) | | |
| 10:30～12:00 | 分科会 1 | | |
| | A 「グローバル時代に求められる力」をつけるには | B 子ども自ら課題を発見し、探究的に学んでいく学習に関する研究 | C 小学校段階におけるプログラミング教育 |
| 12:00～13:00 | 昼食 | | |
| 13:00～14:30 | 分科会 2 | | |
| | D 職場のパートナーシップにつながる校内研修の充実に向けて | E 困難さのある児童生徒を支える学校体制づくり | F 「主体的・対話的な学び」につなげる ICT 活用 |
| 14:50～16:20 | ○クロストーク 「教えの深淵」 塩谷 賢氏 (哲学者) 茂木 健一郎氏 (脳科学者) コーディネーター 酒井 賢一 (長野県総合教育センター) | | |
| 16:20～16:30 | 閉会行事 アンケート記入 | | |

- 参加費 無料
- 参加申込み <締切日 平成 30 年 1 月 31 日(水)>
・長野県総合教育センターのホームページから申込書をダウンロードし、郵送または FAX でお申込みください。
- 定員 300 名程度

長野県総合教育センター 企画調査部
(部長) 酒井 賢一 (担当) 菅原 崇
TEL 0263-53-8802 FAX 0263-51-1290
E-mail kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp